

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	簿記演習				科目コード	T1740C1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	大谷 昇治	履修グループ	1I(BI/BO)				授業方法	講義		
実務経験の内容	IT企業のSEを経て製造業に移りシステム責任者となる。その後、財務部門に移り管理会計業務、原価計算業務を構築。取締役现就き財務責任者として、事業計画や経営法務、関係会社の事業運営を担当した。経理畑の実務経験に基づいて、企業実務に必要な簿記・経理の基本知識やスキルを指導したい。									
学習一般目標	簿記の起源はヨーロッパ中世に遡る。企業が行う活動は、簿記によって記録・計算され報告されてきた。複式の2重の2元性を根底に持つ完成度の高い簿記システムは、財政状況と経営成績の提供で企業経営の意思決定を支えた。経済環境は変化するが、複式簿記はその変化の要請に応え生き残った理にかなった仕組みです。企業経営の仕組みの俯瞰を助ける複式簿記の本質的な仕組みを理解し使えるようになることを目指します。									
授業の概要および学習上の助言	商業簿記 I で学んだことを復習しながら、仕訳や帳簿に関する基本問題の反復演習を行います。習得した知識を繰り返し使うことで、首から下だけで使えるレベルになりたい。そのためには、復習と練習問題を繰り返すことが重要となります。簿記は言葉です。どんどん使えばどんどん身に付きます。									
教科書および参考書	日商簿記3級 みんなが欲しかった！やさしすぎる解き方の本 第3版 日商簿記検定 模擬試験問題集 3級									
履修に必要な予備知識や技能	商業簿記 I の受講									
使用機器	電卓(各自で準備のこと)									
使用ソフト	なし									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	簿記の一巡の手続を理解する。								
	1/2	現金(入出金)や商品売買(仕入・売上)の仕訳を行うことができる。								
	1/2	株式会社の基本的な経理業務を行うことができる。								
	2	損益計算書・貸借対照表に基づいて簡単な企業分析を行うことができる								
	5	講義に意欲を持って取り組み日商簿記3級の検定試験望む意欲がある。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	20	10						30
		2.思考・判断	20							20
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲			10				40	50
総合評価割合	40	20					40	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施する。
小テスト	必要に応じて小テスト(模擬テストを含む)を実施する。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取組、態度を含めて総合的に判断する。 授業内容は、進捗状況や理解度等により変更する可能性がある。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 簿記の基礎(復習)	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第2回	簿記の必要性や目的を理解する 簿記一巡の流れを理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第3回	仕訳①(復習) 日商簿記3級の仕訳を理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第4回	仕訳②(復習) 日商簿記3級の仕訳を理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第5回	試算表(復習) 日商簿記3級の試算表を理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第6回	決算手続きと精算表(復習) 日商簿記3級の決算手続きと精算表を理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第7回	帳簿(復習) 日商簿記3級の主要簿と補助簿、伝票を理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第8回	簿記の総復習①	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第9回	簿記の総復習②	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第10回	簿記の総復習③	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第11回	簿記の総復習④	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第12回	決算書の読み方① 簿記の知識を活かし、決算書の読み方や重要ポイントを理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第13回	決算書の読み方② 簿記の知識を活かし、決算書の読み方や重要ポイントを理解する	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第14回	総復習① 今までの学習内容を復習し、知識を定着させる。	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること
第15回	総復習② 日商簿記検定の試験問題を解きながら、弱点の克服を行う。	演習及び講義	復習: 前回までの講義内容を理解すること